

新発生・異常発生病害虫の原因究明と対策

【研究概要】

①江東地域におけるコマツナ生育不良の原因の一部に、*Fusarium* 属菌、*Rhizoctonia solani* AG-4 HG- I が関与していること、生育不良の土壌から検出されたイシクセンチュウ類を DNA シーケンスおよび形態観察の結果から *Tylenchorhynchus zae* と同定した。

②ブルーベリー栽培圃場で発生した枝枯れ症状は、*Neofusicoccum* 属菌による病害の可能性があり、ラビットアイ系の 5 品種間で発病に差があることを確認した。

③2022 年に都内の花壇植栽植物 5 種とポット栽培 1 種の植物に発生した葉腐および立枯症状が、主に *R. solani* AG-4 HG- I による病害であることを明らかにした。

④利島村のツバキにおけるヨコヤマヒメカミキリについてトラップおよび落枝調査の結果から、成虫の活動時期は 6～7 月で、同時期に交尾・産卵を行っている と推定した。

⑤青梅市のスギにおけるオオタバコガ成虫の発消長は 3 月から 11 月まで記録され、増減パターンは立川市に類似した。